



北京2022冬季オリンピック開催

今年も2月に入りましたが、まだまだ寒い日が続いております。先月も寒い日が続き、浜松でも山沿いはうっすら雪化粧の日もありました。新型コロナのオミクロン株が猛威を振るい感染拡大傾向が続いておりますが、引き続き感染予防に努めて頂き体調管理の方をよろしくお祈りいたします。

今月は4日から20日まで中国・北京で2022冬季オリンピックが開催されます。一時は新型コロナの影響で開催に慎重な雰囲気があり、また政府関係者が出席されないなどこちらも不穏な空気が漂った感じがありましたが、まずは無事開催されることは嬉しい事と感じております。昨年夏同様に選手の皆様にはご活躍を期待するばかりですが、感染や体調には注意して万全な形で試合に臨んで頂きたいと思っております。注目選手は観戦される方それぞれにいますかと思っておりますが、地元である静岡県からは2名が代表に内定しています。男子フリースタイルスキー・モーグル代表で袋井市出身の杉本幸祐選手と、女子スノーボード・アルペン代表で掛川市出身の三木つばき選手です。お二人とも初のオリンピック出場との事で緊張もあるかと思っておりますが、大舞台での試合でご活躍されることを期待しています。

他の試合でも日本選手の活躍に期待したいですが、参加される世界の選手の方々と良い競い合いが出来るようお願いいたします。もうすぐ開催となりますが楽しみにしたいと思います。

今月も寒い日が続き体調管理や新型コロナも心配ではありますが、身体のケアや感染予防対策を行い、1ヶ月間よろしくお祈りいたします。

社長 太田 聡
編集担当：島

ポカミス防止策のポイント(第4回)

先月はポカミス防止策のポイントとして「4. 決めたとこの実行」について説明しました。第4回として、引き続きポカミス防止策のポイントを説明していきます。

5. 慣れや無関心による未確認

慣れによる書類や図面の未確認、今までと同じであると早合点した未確認などのポカミスに対して「責任と関心」を持つように、徹底した啓発を図ることが根本となる。

ポイント	①自己点検チェックシートなどで点検・確認の習慣化を図る
	②朝礼で自分の注意事項を宣言したり、掲示板等にこのことを書き出したりして、「長期記憶化、注意喚起」の習慣化を図る
	③当事者も参加させてポカミスの真の原因を把握し、ポカミスは自分達の改善すべきことと十分認識させる
	④当事者の仕事の重要さ、どのような役割を果たしているのかを十分説明する

6. 部品の誤使用、混入

整理、整頓が悪いことによる原材料、部品の誤使用、異品の混入などのポカミスに対するポイントは、直接的原因と間接的原因に分けて考える。

直接的原因	①原材料、部品の置き場所を番地や色などで明確にする
	②類似の原材料、部品は、同一場所に置かない
	③不良な原材料、部品は整理し、現場に放置しない
	④品種の切換え時は、全て片づけた後に生産を開始する
	⑤不良品、保留品など使用できない品物は、明確に区別する
間接的原因	5Sの1つである「躰」に取組み、職場規律の遵守を図る

「ポカミス防止策のポイント」は以上です。次回から「作業や環境から考えるポカヨケ」を説明していきます。

品質保証部

エクセルの豆知識

知っている方にとっては当たり前の機能かもしれませんが、エクセルでのちょっとした小技を紹介します。

・Alt+Enterで「折り返して全体を表示」

右の図をご覧ください。通常入力した場合、折り返して全体を表示した場合、セル内改行を行った場合の3パターンでの違いを表しています。

通常入力した場合、セルの幅を超えた入力文字は右隣のセルにまたがって表示されます。

セルの設定で「折り返して全体を表示」に変更すると、セル内で自動で改行してくれます。

セル内の任意の位置で改行したい場合、「Alt+Enter」キーを押すとその位置で改行してくれます。

通常入力	セル内改行	セル内改行
	↓	
折り返して全体を表示	セル内改行 内改行	セル
	↓	
Alt+Enter セル内改行	セル内改行 セル内改行	

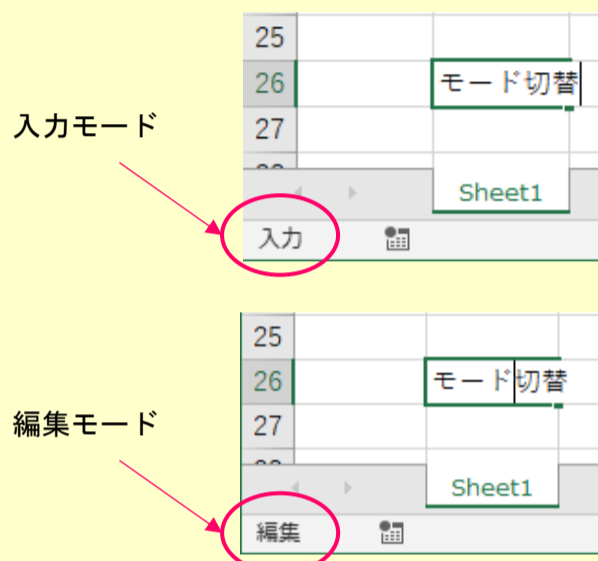
・「F2」キーでモード切替

入力している最中に間違ったデータを訂正するために、カーソルの左(←)や右(→)キーを押して、別のセルが選択され、舌打ちをしながら訂正したいセルをダブルクリック……みたいなことはありませんか？

そんな時便利なのが、「F2」キーでの編集モードへの切替です。右の図を見ていただくと分かりますが、「F2」キーを押すたびにエクセルの左下が「入力」⇄「編集」に切替わります。編集モードの時はカーソルキーでセル内の移動ができます。

ただし、気を付けることがあります。入力モードでは、関数入力中にカーソルキーを押すとセル参照ができますが、編集モードではセル内のカーソル位置変更となります。

「F2」を押すごとに入力モードと編集モードは交互に切替わりますので、用途に合わせて使用しましょう。



編集担当：島

五常講に学ぶ ～二宮金次郎(尊徳)～

先月号では、二宮金次郎の暮らしや功績について説明しました。今月号は、先月触れた「五常講」という制度の紹介とそこからの学びを深めたいと思います。

『五常』とは、儒教で人が常に守るべきと言われていた「仁・義・礼・智・信」の五つの徳目です。この五つを守ることが、優れた人間性に繋がると考えられています。

「仁」とは、人に対する思いやりの心、
 「義」とは正義・道理にかなったこと、
 「礼」とは人に対する敬う気持ちを示すこと、
 「智」とは知恵、つまり物事の善悪を識別する力、
 「信」とは人を信じたり、人に対して偽らないこと
 <引用：実はこんなにすごい再建の神様 二宮金次郎の言葉と仕事より>

「五常講」はこの五常の考えを取り入れた金融制度で、元々は二宮金次郎が奉公した小田原藩士の服部家救済の為に考えたものです。

資金に余裕のある人から無い人へ融通し、借りた人は必ず返済し、貸して貰った人に感謝する。借りた人は返済できるよう工夫したり節制したりする。そして、お互いに信頼することで成り立っている仕組みです。また、この「五常講」は連帯責任としており、返済が遅れると皆に迷惑がかかるので、「仁・義・礼・智・信」を自然と実行せざるを得なくなっています。

そして、完済して資金に余裕ができれば、今度は融通する側となり循環していきます。

私はこの制度について、融資を繰り返して社会が回る仕組みをつくったり、融資を受けた人に節制や工夫を習慣づけたりと、道徳的なことだけではなく、持続的な経済支援にも繋がっており、現代に於いても必要な考えだと感じました。また、自分だけではなく、助け合いと信頼関係、人に対する敬意、そして、習慣づけの大切さなど、お金の貸し借りに限ったことではなく、私たちの仕事や生活に於いても大切なことだと改めて学びました。

編集担当：伊藤

編集担当より

2月11日は「建国記念の日」となります。「建国をしのび、国を愛する心を養う日」と定義されています。日本国が誕生した日…ではなく、あくまで「建国を記念する日」とされています。

2月11日が「建国記念の日」と定められたのは、昭和41年(1996年)のことです。なぜ2月11日になったのかというと、日本の初代天皇である神武天皇(じんむてんのう)が即位した日をもとにしています。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004
 静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地
 TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898
 URL:<http://www.apollo-elec.co.jp>

編集担当：管理室

発行日 令和4年2月1日